

地域密着型金融の取組事例について

 タイトル 農業経営診断研修の開催

 JA名 JA宮崎信連（宮崎県）

1 動機 (経緯)	本会は、昭和44年より平成元年までの21年間に農家経営指導のできるJA職員の養成を目的に、「農家経営調査研修」の名称で延べ145名を受入れ、3ヶ月をかけて金融全般、畜産簿記、営農技術、経営調査・分析手法等の指導を行ってきました。 その後中断していましたが、昨今の農業情勢をとりまく環境激変による農家経営の悪化や、他業態による農業分野への攻勢等に対する危機感から、平成19年度より「農業経営診断研修」の名称で復活し、農家経営のコンサルタント能力を持ったJA職員を育成することで、組合員農家のニーズの充足、ひいてはJAの融資機能強化へと寄与させるべく取り組んでいます。
2 概要	当該研修は、年2回上期と下期に開催し、受講生の経験度に応じて、それぞれ6～7週間実施しています。 研修は、本会研修室にて、少人数による、ほぼマンツーマンに近い状況で行われ、金融法務、農業簿記、経営分析・診断理論、演習、経営改善策策定等を履修、習得度合いを確認しながら効果の高い研修を目指しています。
3 成果 (効果)	平成19～23年度までの5カ年で9回開催し、8JAから18名が受講しました。 受講生は、現在、経営支援部署、融資部署、営農指導部署等に在籍、最前線にて組合員への相談・指導業務にあたっています。